

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長

(氏名) 善家 富夫

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,207	4.4	1,209	41.2	1,402	41.1	754	30.2
24年3月期第3四半期	27,020	26.4	856	251.7	994	143.8	579	62.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 758百万円 (28.3%) 24年3月期第3四半期 591百万円 (98.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	65.50	—
24年3月期第3四半期	58.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,251	20,000	79.2
24年3月期	23,045	19,368	84.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 20,000百万円 24年3月期 19,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	11.00	11.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	12.9	1,351	71.1	1,550	54.6	920	8.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	11,556,084 株	24年3月期	11,556,084 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	32,679 株	24年3月期	32,719 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	11,523,391 株	24年3月期3Q	9,943,473 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州の債務危機による海外景気の減速や長引く円高等の影響により、景気の先行きについては不透明な状況で推移いたしました。

また、養殖業界におきましては、ハマチ・カンパチの魚価低下や消費低迷等の影響により、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上に努めてまいりました。また、うなぎ養殖事業を行う新会社「株式会社西日本養鰻」の設立などにも取り組んでまいりました。

その結果、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の両事業において販売数量が増加したことにより、売上高は増収となりました。

利益面では営業力の強化と業務の効率化等を進めたことで利益率が改善し、また、経費面では販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金繰入額が前年同期と比べ4億20百万円から2億38百万円に減少したこともあり、各利益は増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は282億7百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は12億9百万円（前年同期比41.2%増）、経常利益は14億2百万円（前年同期比41.1%増）、四半期純利益は7億54百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

なお、平成23年6月に株式会社海昇を子会社化いたしました。みなし取得日が平成23年6月30日であるため、前第3四半期連結累計期間における株式会社海昇の業績は、平成23年7月1日から平成23年12月31日までの6ヶ月間を連結しております。

また、平成24年9月に設立した新会社「株式会社西日本養鰻」（当社100%出資子会社）の当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成24年3月期 第3四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成25年3月期 第3四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	17,535	18,619	1,083	6.2
餌料・飼料の販売事業	9,332	9,457	125	1.3
その他の事業	152	130	△22	△14.6
合計	27,020	28,207	1,186	4.4

（注）セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ・カンパチの魚価が過去最安値となるなど市場環境は大変厳しい状況にありましたが、その一方で割安感からハマチ・カンパチ・加工品の販売数量は増加いたしました。また、利益率の高い稚魚及び人工孵化稚魚の販売数量も増加したこと増収増益となりました。

この結果、売上高は186億19百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は1億58百万円（前年同期比350.5%増）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」では、平成24年7月に発生した赤潮被害の影響等もあり、餌料・飼料の販売は微増にとどまりましたが、利益率の改善と貸倒引当金繰入額の減少により増収増益となりました。

この結果、売上高は94億57百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は10億73百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

「その他の事業」では、売上高は1億30百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は19百万円（前第3四半期連結累計期間は、セグメント損失5百万円）となりました。

その内容は、「日急運輸株式会社」の運送事業に係る業績は、売上高は1億30百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は0百万円（前第3四半期連結累計期間は、セグメント利益4百万円）であります。

また、「日振島アクアマリン有限責任事業組合」の損益は、セグメント利益18百万円（前第3四半期連結累計期間はセグメント損失10百万円）であります。

なお、「株式会社西日本養鰻」の損益に与える影響は軽微であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は212億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億57百万円増加いたしました。これは主に短期貸付金が4億91百万円減少し、受取手形及び売掛金が25億50百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は39億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加いたしました。これは主にのれんの償却等により無形固定資産が70百万円減少し、一方で活魚車の購入やマグロ生簀の増設等により有形固定資産が75百万円増加、投資有価証券の購入等により投資その他の資産が3億43百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は252億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億6百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は50億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億97百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が19億58百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は1億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が3億20百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は52億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億74百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は200億円となり、前連結会計年度末に比べ6億32百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が6億28百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.2%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、ハマチ、カンパチの魚価が想定以上に下落し、売上高は少し下振れした状況にあります。利益面に関しましては、ほぼ計画通りに推移しております。

そのため、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年9月に新会社「株式会社西日本養鰻」（当社100%出資子会社）を設立し、第2四半期連結会計期間より、株式会社西日本養鰻を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,767千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,706,963	13,306,266
受取手形及び売掛金	5,131,167	7,681,830
有価証券	100,378	—
商品及び製品	344,611	396,755
仕掛品	228,270	167,285
貯蔵品	10,161	15,305
短期貸付金	1,224,871	732,931
その他	73,429	105,440
貸倒引当金	△1,384,011	△1,112,535
流動資産合計	19,435,843	21,293,278
固定資産		
有形固定資産	1,840,114	1,915,834
無形固定資産		
のれん	398,444	328,130
その他	2,242	2,174
無形固定資産合計	400,686	330,305
投資その他の資産		
その他	1,607,822	2,348,695
貸倒引当金	△239,308	△636,636
投資その他の資産合計	1,368,514	1,712,058
固定資産合計	3,609,315	3,958,199
資産合計	23,045,159	25,251,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,375,617	4,333,799
未払法人税等	382,361	240,472
賞与引当金	17,109	3,754
その他	419,968	514,948
流動負債合計	3,195,056	5,092,974
固定負債		
退職給付引当金	148,107	145,169
役員退職慰労引当金	333,334	12,402
固定負債合計	481,442	157,571
負債合計	3,676,498	5,250,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,276	3,124,310
利益剰余金	14,080,591	14,708,624
自己株式	△15,837	△15,831
株主資本合計	19,376,645	20,004,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,984	△3,834
その他の包括利益累計額合計	△7,984	△3,834
少数株主持分	—	46
純資産合計	19,368,661	20,000,931
負債純資産合計	23,045,159	25,251,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	27,020,249	28,207,041
売上原価	23,275,505	24,037,704
売上総利益	3,744,744	4,169,336
販売費及び一般管理費	2,888,129	2,959,916
営業利益	856,614	1,209,419
営業外収益		
受取利息	83,040	89,061
受取配当金	5,802	7,716
投資不動産賃貸料	33,950	32,431
その他	55,407	90,810
営業外収益合計	178,200	220,020
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	17,244	15,004
投資事業組合運用損	12,123	7,556
その他	11,373	4,343
営業外費用合計	40,741	26,904
経常利益	994,073	1,402,536
特別利益		
固定資産売却益	801	3,927
受取和解金	17,500	—
特別利益合計	18,301	3,927
特別損失		
固定資産除却損	185	1,634
投資有価証券評価損	—	2,236
役員退職慰労金	—	99,590
特別損失合計	185	103,462
税金等調整前四半期純利益	1,012,189	1,303,000
法人税、住民税及び事業税	446,851	462,260
法人税等調整額	△14,281	85,903
法人税等合計	432,570	548,163
少数株主損益調整前四半期純利益	579,619	754,837
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	46
四半期純利益	579,646	754,790

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579,619	754,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,784	4,149
その他の包括利益合計	11,784	4,149
四半期包括利益	591,403	758,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591,430	758,940
少数株主に係る四半期包括利益	△26	46

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,535,381	9,332,394	26,867,775	152,473	27,020,249	—	27,020,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,289	103,484	121,773	150,388	272,161	△272,161	—
計	17,553,670	9,435,878	26,989,549	302,861	27,292,410	△272,161	27,020,249
セグメント利益又は 損失(△)	35,078	861,111	896,189	△5,838	890,351	△33,736	856,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業(一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△33,736千円には、セグメント間取引消去における内部利益△3,326千円、のれん償却額△46,875千円及びその他の調整額16,465千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で724,165千円、餌料・飼料の販売事業で1,961,359千円及び調整額で1,351,581千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる当第3四半期連結累計期間ののれんの金額は421,881千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産(調整額)に含めております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,619,017	9,457,841	28,076,858	130,182	28,207,041	—	28,207,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	136,331	136,350	208,523	344,873	△344,873	—
計	18,619,035	9,594,173	28,213,209	338,706	28,551,915	△344,873	28,207,041
セグメント利益	158,035	1,073,579	1,231,614	19,226	1,250,841	△41,421	1,209,419

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業）であります。
2. セグメント利益の調整額△41,421千円には、セグメント間取引消去における内部利益△2,457千円、のれん償却額△70,313千円及びその他の調整額31,349千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、新会社「株式会社西日本養鰻」（当社100%出資子会社）を設立いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

また、会計方針の変更（減価償却方法の変更）に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「鮮魚の販売事業」で4,434千円、「餌料・飼料の販売事業」で1,333千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。